3－④－❶　こんな町　めざそう！　どんなこと　できそう？

■対象：地域住民　■人数：20 人　■時間：60 分程度　■手法：フリップ・ディスカッション

学習のねらい　　地域のよい面や問題点、困っていること等について話し合うことで、地域の未来のために何ができるかを考えることができる。

時間	学習の流れ	留　意　点	準　備　物
	【はじめに】 今日は、この町を住みよい町にしていくために、自分たちで何ができそうか考えていきます。 それでは、その前に少し心と体をほぐしましょう。		
20分	【アイスブレイク】 ①　何に見えるかな ②　自己紹介 ・地域の好きなところ	・まずは、個人で、次は、４人のグループで考える。 ・個人よりグループで考える方が多く見つけることができることを体感し、この後のワークのねらいにつなげる。 ・まず、フリップに一言で書き、その後グループで自己紹介する。	バインダー A4用紙 色マーカー
30分	《はじめにルールとマナーを確認しましょう》 【中心のワーク】 ①　地域の現状について「よいところ」をフリップに書き、グループで意見交換をする　[6分] ②　「問題点・困っているところ」をフリップに書く　[5分] ③　グループで意見交換をする　[5分] ④　「〇年後、どんな地域になってほしいか」をフリップに書く　[2分] ⑤　グループで意見交換をする　[5分] ⑥　「そのために必要なこと」（課題）をフリップに書く　[2分] ⑦　グループで意見交換をする　[5分]	・自分が感じていること以外に、人から言われたことがある内容を加えてもらってもよい。 ・話し合いの間、ファシリテーターは、グループをまわり、意見をメモし、ホワイトボード等に整理する。 ・「めざす地域」は、「３年後」「５年後」「10年後」等と、グループで選んでもらってもよい。 ・「そのために必要なこと」（課題）は、実現性で考えるのではなく、自由な発想で考えてもらう。	ホワイトボード
10分	【ふり返りと分かち合い】 ①　「自分たちでやってみたいこと」をフリップに書く ②　グループで発表し合う	・全体に広げたいことは、積極的に取り上げる。	
	【おわりに】 いかがでしたか。地域には、問題点や困っていることもあるとは思いますが、やってみたいことを考えることで、めざす地域に一歩近づく第一歩となったのではないかと思います。まずは、できることから取り組んでいきましょう。		